



普及啓発・推進に向けた取組

北海道では、北の住まいるタウンの取組を効果的に推進するため「検討協議会」を開催しています。また、普及啓発やまちづくり人材育成のため、セミナーや事例見学ツアーなどを継続的に実施しています。

●北の住まいるタウン実践ガイドブック（冊子/WEB）



北の住まいるタウンの取組を実践するため、道内外のまちづくりの先進事例や国や道の支援事業を紹介



トップページ



支援事業一覧

●まちづくりメイヤーズフォーラム

道内市町村の首長、第一線で活躍する実践者を招き、パネルディスカッションでまちづくりを考える



●北の住まいるタウン検討協議会

学識者・事業者・国機関で構成され、北の住まいるタウンの推進方策を検討



●まちづくりセミナー

北海道内外の市町村から講師を招き、先進事例の紹介と意見交換



●事例見学ツアー

北海道内の市町村を訪問し、現場担当者からリアルな知見を学び、意見交換



北海道 建設部 建設政策局 建設政策課

TEL 011-204-5284

Mail kensei.kensetsu@pref.hokkaido.lg.jp

URL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.html (QR コード)



北海道では、全国を上回るスピードで人口減少や少子高齢化が進行し、広域分散型の都市構造と相まって、地域の経済や生活などへ様々な影響が及ぶことが懸念されています。

このような中で、北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、「誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち」を目指し、地域が一体となって取り組むことが重要です。これらの取り組みを進めていく上で、目指すべき将来のまちの姿が「北の住まいるタウン」です。



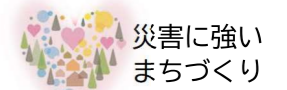
コンパクトな
まちづくり



脱炭素化
資源循環



暮らしやすさ
の向上

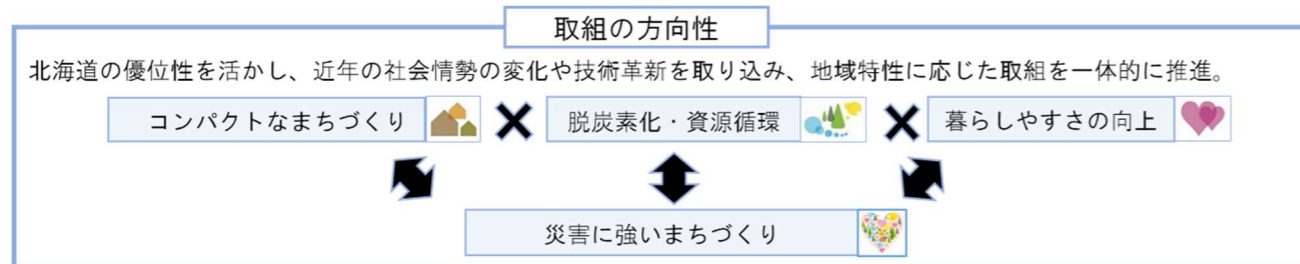
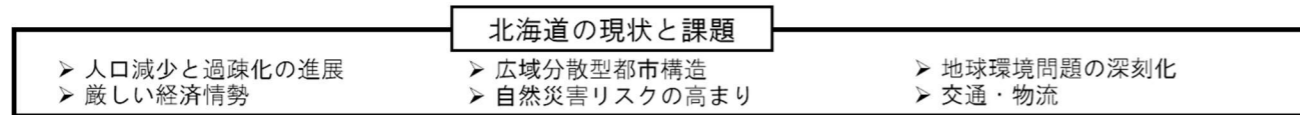


災害に強い
まちづくり



目指す姿と方向性

北海道の優位性を活かし、近年の社会情勢をうまく取り込みながら、人口減少下においても、人々が安心して暮らし続けられるだけでなく、地域資源が活かされ、魅力的で暮らしやすく、外からも人を呼び込み、地域が活性化するまちを目指します。



目指す姿 誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち



取組の視点と効果

「北の住みいるタウン」の実現に向け、北海道の優位性や社会情勢の変化、自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、「コンパクトなまちづくり」「脱炭素化・資源循環」「暮らしやすさの向上」という3つの方向性に沿った取り組みを掛け合わせ、「災害に強いまちづくり」を意識しながら、地域の多様な主体が連携・協力して進めていくことにより、地域が抱える多岐にわたる課題の解決につながる相乗効果・波及効果を生み出し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていきます。



公共施設の機能集約と新機能を付加したまちなか拠点を官民連携の事業手法で整備（室蘭市）



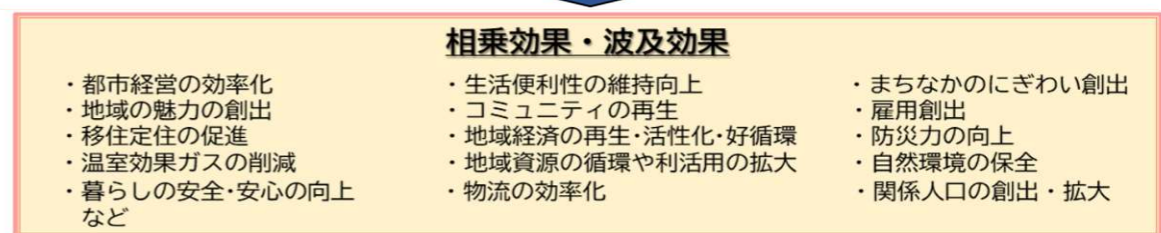
廃棄物由来のバイオガス活用（稚内市）



楽しみながら防災を学ぶ「サバイバルフェスティバル」の開催（鹿追町）



路線バス内での移動販売を行う「マルシェバス」の実証実験（帯広市）



《将来像》 多岐にわたる地域課題の解決 将来にわたって持続可能なまちづくり